

団体名 糸満市立糸満南こども園	連絡先 TEL : 098 - 994-3734 Eメール : itominamikodomo@city.itoman.lg.jp
---------------------------	--

1 実践事項 (①幼・こ・小・中・高・地域・関係団体との連携)

「学びや育ちをつなぐ幼小連携の取り組み」

2 実践内容

○糸満市幼小連携事業「連絡協議会」における取組

- ・市内幼小の連携担当者全員で、1校1園の授業・保育を参観し、相互理解を図る。
- ・講師による講話やワークショップを取り入れた研修を通し、幼小接続への理解を深める。

○合同研修会(情報交換会)の実施

- ・糸満南小学校1年生の授業参観を行い、参観後の振り返りの中で、1年生担任と入学後の育ちや園生活での様子を伝え合う。
- ・幼児施設の保育を参観し、遊びや生活の中から学びの芽生えを捉え、共通理解を図る。

○幼児・児童の交流

- ・1年生教室見学、運動会練習の見学等を通して、憧れや期待につなげる。
- ・近隣の幼児施設園児と交流し、同じ小学校に通う友達の存在を感じ、親しみをもつ。
- ・交流をもつにあたって計画や振り返りの場を設ける。

3 説明資料



授業参観後の振り返り



4園交流



1年生の教室見学

4 成果

- ・幼児教育施設と小学校の職員が同じ研修を受けたことで、幼小教育の接続への理解を深め、大切にしたいことの共通理解ができた。
- ・コロナ禍の中でも交流や施設見学の方法を工夫したことで、園児は就学に対する期待や小学生への憧れ、同年齢の友達に対する親しみをもつことができた。
- ・計画や振り返りの場を設けることで、交流する意義やねらいを改めて確認したり、成果と課題について共通理解を図ることができた。

5 課題

- ・園生活の中で就学に向かって育ちつつある姿やその過程を、ドキュメンテーション等を通して、園の職員だけでなく保護者や小学校へ発信していきたい。
- ・コロナ禍による制限で授業参観や公開保育への参加人数が1人と限られることが多かったので、複数で参観できるような工夫を探り、園内研修や実践に生かしていきたい。